

昼頃 自転車で横断歩道を渡っていた中学生 ひき逃げされ死亡

新型コロナウイルスの影響で、休校中
車運転の男逮捕 「怖くなって逃げた」

2020年5月8日 4時03分

7日正午ごろ、東京都の交差点で、自転車で横断歩道を渡っていた近くに住む中学1年の男子生徒(12)、左から走ってきたワゴン車にはねられ、死亡しました。新型コロナウイルスの影響で学校は休校となっていて、中学生は午前中は自宅で勉強し、昼食を食べたあと、公園に向かう途中だったということです。

車は逃走していましたが、警視庁は、車を運転していた渋谷博容疑者の男性(53)を見つけ、7日夜、ひき逃げなどの疑いで逮捕しました。調べに対し、容疑を認めたとうえで、「釣りに行こうとしていた。怖くなって逃げた」と説明しているということです。

ひき逃げで、中1死亡 コロナ禍の今、『交通事故』から、子どもの命を守るには

ノンフィクション作家・ジャーナリスト 抜粹
2020/5/8(金) 6:06

またしても、痛ましい事故のニュースが飛び込んできました。

5月7日、自転車で乗った中学1年の生徒が車にひき逃げされ、死亡したということです。

車はそのまま逃走したため、ひき逃げ事件として捜査を進めていましたが、まもなく当該車両を発見。夜になり、無職の男(53)を逮捕したということです。

ゴールデンウィーク明けのこの日は木曜日でした。東京都内の小中学校ではまだ休校が続いていたのです。

事故が発生したのは正午ごろです。報道によれば、被害生徒は自宅で勉強をした後、公園へ向かう途中だったそうです。

普段であれば学校で授業を受け、間もなく昼休みの時間だったはずですが。

感染拡大を食い止めるために致し方ないとはいえ、コロナによる休校措置さえなければ、こうした被害に遭うことはなかったのだと思うと残念でなりません。

■先月も休校中の正午頃に同様の事故が発生

先月も神奈川県で同様の事故が発生しました。

4月9日正午ごろ、神奈川県で自転車で乗った小学3年生の男児(8歳)が、68歳の男性が運転する乗用車にはねられ、意識不明の重体に陥ったのです。

この日も木曜日の平日でした。そして、被害男児の通う小学校は新型コロナウイルスの影響で休校中でした。

『今まさに、感染症とは別の危険が全国各地に潜んでいることを、ドライバーも、そして保護者も心しなければなりません』

■コロナ休校中に高校生以下の子どもの事故多発

『警視庁の調べによれば、都内の小中学校などが休校となった3月から4月末までに高校生以下の子どもがけがをした交通事故は181件起きていて、事故に注意するよう呼びかけています』…とのこと。

『三密』を避け、ウイルスの感染から身を守るために取られているはずの休校措置が、結果的に重大交通事故の被害につながってしまうとすれば、本末転倒です。

新型コロナウイルスの感染拡大に伴って、交通量と事故件数が減少している反面、死亡事故は増えています。

全国の警察が、「スピードの出しすぎ」に注意するよう警鐘を鳴らしています。

実際に、車の時速が50キロを超えると、死亡事故率が急激に高まります。

ドライバーの皆さんは、平日の日中でも子どもたちが近くにいることを意識し、運転には十分に気をつけてください。

一方、保護者の皆様も普段よりスピードを出しがちな車が多いことを、お子様たちに伝えてあげて下さい。

新型コロナウイルスの感染、そして交通事故、いずれも命に係わる重大な危険です。どうか子どもたちを守るために、この現実を恐れ、しばらく続く「非日常」を乗り切っていただきたいと思います